

大田区議会議員(4期目) 大田区へ政策提言



ゆもと良太郎 プロフィール

44歳の父

昭和51年5月10日

大田区大森生まれ(A型)。
大森幼稚園・大森第五小・日大三中・日大三高を経て明治
大学商学部貿易コース卒。都議会議員秘書を経て、

平成15年4月

大田区議会議員選挙に自由民主党公認若年26歳で初出馬、
初当選(5536票)。66候補者中、新人1位。

平成19年4月

大田区議会議員選挙にて2期目の当選(5419票)。

平成27年4月

大田区議会議員選挙において3期目の当選(5523票)。

平成31年4月

大田区議会議員選挙において4期目の当選(7794票)。

令和2年をふり返る

令和2年度をふり返ると「コロナ対策に終始した一年であった」という感想を多くの方が持たれると思います。大田区政においてもコロナ対応に追われた一年間でありました。

新型コロナウイルス対応として、私はどの様な考えで臨んだかということ「感染拡大を防止し、これからの生活に安心と安定感のある展望をつくる」これ

を形にする為に何をすべきかという視点で行政と議会で議論や提言を行って参りました。

大田区の新型コロナ対応は適切なのか？

そこでもまず留意した点は大田区の政策判断の根拠はどこにあるのか？という点です。新型コロナウイルス感染拡大という未曾有の経験に直面している状況下であり、おそらく効果的であろうという予測をして対策を立てるという手探りの対応を世界中が続けております。そして様々な情報の中には真偽のほどが解らない情報もあります。具体的な例としては、コロナ対応当初はマスクが有効であるか判明をしていなかったのが欧米諸国ではマスクを使用しな

裏面につづきます

皆様のご意見をお聞かせ下さい

大田区議会議員 ゆもと良太郎事務所

〒143-0011 東京都大田区大森本町2-31-10 TEL.03-3765-1464 FAX.03-3765-1482

<http://www.yumoryo-otacity.jp> ☒ info@yumoryo-otacity.jp

い市民も多く、そのことが感染拡大に大きく影響したとされています。

今になってみればマスクをすることが常識であるといった感覚を大多数の方が持っておりますが、その効果を解明する前はマスクをしている人を過剰な対応だと嘲笑する空気が社会にありました。

この手探りの対応に、少しでも根拠を持たせるといった観点から大田区は学校法人東邦大学と連携し、医学部教授・日本感染症学会理事長の舘田一博氏を迎え、区民の命と生活を守る官学連携プログラムを令和2年11月1日にスタートさせ「新型コロナの最新情報と対応策」を舘田教授より直接感染症対策について助言を得て政策判断を行う仕組みを構築しました。

この仕組みを活用しWITH コロナに対応できる行政サービスの展開ができる様に議会にて政策について議論を行っております。

ただし、政策判断の責任はあくまで行政と議会が負っています。区民生活の実情を大切に、皆さんの共感が得られる区政運営を目指して提言や指摘を行って参ります。

区民の命と生活を守る官学連携プログラム

区民の命と生活を守る 官学連携プログラム

※東邦大学の寄付講座制度を活用し、同大学医学部に「地域連携感染制御学講座」を設置

大田区

- ・ 区政課題の提案
- ・ 関連情報の提供

東邦大学

- ・ 専門知識の活用
- ・ 学内設備等の活用
- ・ 人材育成

具体的な取組み

1. 専門的な知見に基づく区内感染状況の把握を通じた政策形成
2. ウイズコロナを踏まえた産官学連携促進に向けた助言
3. 区民や事業者に向けた感染対策等の広報・啓発
4. 職員全体の感染症リテラシー向上
5. 緊急時の官学連携活動

新たな行財政運営モデル="大田区モデル"にもとづく取組みにより、

74万区民の命と生活を守る